

**NIFCO**

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴尾 雅春
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長 (氏名) 浜田 博 TEL 03-5476-4853
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	262,332	△0.6	37,722	△0.4	39,426	△2.4	28,539	2.2
2025年3月期第3四半期	264,020	△3.6	37,862	20.1	40,403	16.6	27,919	19.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 25,077百万円 (△11.0%) 2025年3月期第3四半期 28,164百万円 (△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	301.56	—
2025年3月期第3四半期	286.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	372,253	286,560	76.1	3,033.91
2025年3月期	379,816	278,725	72.4	2,888.37

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 283,400百万円 2025年3月期 274,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 75.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —		
2026年3月期（予想）				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	348,000	△1.4	49,500	0.6	49,500	△5.1	30,600	△31.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期 3Q	100,257,053株	2025年3月期	100,257,053株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	6,846,064株	2025年3月期	5,058,850株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	94,638,487株	2025年3月期 3Q	97,396,294株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米関税引き上げの影響は徐々に緩和しつつあり、自動車を中心とする輸出が増加しました。米国向け以外でも、欧州向けを中心に堅調に推移しており、製造業の景況感は好調であります。海外に目を転じますと、中国経済では、個人消費の伸びが鈍化し、固定資産投資も大幅に減少しました。このような停滞が続く中でデフレ圧力が意識され、景気減速の傾向が見られております。欧州経済については、国ごとに明暗が分かれていますが、ヨーロッパ全体では緩やかに持ち直しております。英国は内需・外需ともに軟調で景気は低迷しております。米国経済においては、旺盛なAI需要を背景にコンピュータ・電子製品が全体をけん引し、足元の企業の経営活動は活発で非製造業の景況感も良好に推移しております。このように世界経済は、足元において持ち直しが見られるものの、国家の関与が相対的に強まる動きの中、戦略物資の国産化や安全保障を理由にモノ・ヒト・カネの自由移動が制約され、世界経済の潜在成長力が低下する可能性があり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、当第3四半期連結累計期間において、対前年同期比で、生産台数、販売台数とともにやや下回る状況となりました。海外におきましては、当第3四半期連結累計期間の対前年同期比で、欧州市場では、生産台数が減少したものの販売台数は増加しました。米国市場では、生産台数、販売台数とともに下回った一方で、中国市場では生産台数、販売台数はともに大幅に上回りました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.6%減の2,623億3千2百万円となりました。

利益面では、管理可能経費の削減などを積極的に行っておりましたが、物価や人件費の上昇の影響により、営業利益は前年同期比0.4%減の377億2千2百万円となり、経常利益は前年同期比2.4%減の394億2千6百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の寄与もあり、前年同期比2.2%増の285億3千9百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、米国関税の影響が落ち着いて輸出が増加傾向にあり、国内製造業における景況感の良化が背景にある中で、大規模な金型売上もあり、増収となりました。海外におきましては、中国では生産、販売台数が伸びているものの、多くの国で自動車の生産、販売台数が対前年比で減少しており、減収となりました。結果として、合成樹脂成形品事業全体としては減収となりました。利益面においては、管理可能経費の削減などを積極的に行っておりましたが、物価や人件費の上昇の影響により、減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比0.5%減の2,355億6千1百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比0.2%減の377億6千7百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においてはホテル向け及び輸出向けの売上が伸びたものの、販売店向けが苦戦しました。一方、海外においても中国が2024年の8月に中央政府が打ち出した消費促進策が一部地域で継続されたことにより卸・小売に加えてホテル向けも好調に推移するも、香港にて卸及びホテル向け売上が低調となり、減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比2.0%減の267億7千万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比3.1%減の41億2千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ75億6千2百万円減少して、3,722億5千3百万円となりました。主な減少要因としては、建物及び構築物が69億1千6百万円、機械装置及び運搬具が16億1千7百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が149億9千7百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ153億9千7百万円減少して、856億9千3百万円となりました。主な減少要因としては、1年内償還予定の社債が100億円、支払手形及び買掛金が44億5千4百万円、賞与引当金が14億9千2百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ78億3千5百万円増加して、2,865億6千万円となりました。円高により為替換算調整勘定が43億5千2百万円減少したものの、主として利益剰余金が205億3千2百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は76.1%、1株当たり純資産は3,033円91銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	146,232	131,235
受取手形	1,129	1,327
电子記録債権	6,807	6,937
売掛金	52,214	51,768
契約資産	477	463
有価証券	1,349	2,405
商品及び製品	26,204	27,122
仕掛品	2,983	3,391
原材料及び貯蔵品	10,039	10,396
その他	12,405	12,450
貸倒引当金	△279	△262
流动資産合計	259,565	247,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,169	52,086
機械装置及び運搬具（純額）	18,128	19,745
工具、器具及び備品（純額）	3,860	4,015
金型（純額）	4,468	4,071
土地	20,808	21,692
リース資産（純額）	38	33
建設仮勘定	11,766	6,968
その他	3,445	3,709
有形固定資産合計	107,685	112,322
無形固定資産	2,194	2,436
投資その他の資産		
投資有価証券	684	344
繰延税金資産	3,332	3,325
退職給付に係る資産	3,470	3,384
その他	2,883	3,203
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,370	10,258
固定資産合計	120,250	125,017
資産合計	379,816	372,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,284	21,829
1年内償還予定の社債	10,000	—
短期借入金	199	—
1年内返済予定の長期借入金	60	60
未払金	6,053	6,372
未払法人税等	3,439	4,948
契約負債	5,035	4,071
賞与引当金	3,531	2,039
その他	12,620	13,506
流動負債合計	67,223	52,828
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	225	195
繰延税金負債	3,669	2,721
退職給付に係る負債	1,760	1,855
その他	3,211	3,093
固定負債合計	33,867	32,864
負債合計	101,090	85,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	—	—
利益剰余金	253,466	273,998
自己株式	△18,588	△26,550
株主資本合計	242,168	254,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	5
繰延ヘッジ損益	△7	△0
為替換算調整勘定	32,886	28,533
退職給付に係る調整累計額	△85	122
その他の包括利益累計額合計	32,799	28,661
非支配株主持分	3,757	3,160
純資産合計	278,725	286,560
負債純資産合計	379,816	372,253

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	264,020	262,332
売上原価	183,428	181,098
売上総利益	80,591	81,234
販売費及び一般管理費	42,729	43,511
営業利益	37,862	37,722
営業外収益		
受取利息	1,253	1,041
投資有価証券評価益	132	—
為替差益	908	836
その他	724	461
営業外収益合計	3,018	2,339
営業外費用		
支払利息	194	192
その他	282	443
営業外費用合計	476	635
経常利益	40,403	39,426
特別利益		
固定資産売却益	19	1,191
投資有価証券売却益	1,668	—
特別利益合計	1,688	1,191
特別損失		
固定資産除売却損	80	142
投資有価証券評価損	10	—
投資有価証券売却損	—	23
減損損失	—	360
訴訟損失引当金繰入額	※1 765	—
特別損失合計	856	526
税金等調整前四半期純利益	41,236	40,090
法人税等	12,573	10,749
四半期純利益	28,662	29,340
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,919	28,539
非支配株主に帰属する四半期純利益	743	801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,951	△0
繰延ヘッジ損益	13	7
為替換算調整勘定	1,326	△4,478
退職給付に係る調整額	113	208
その他の包括利益合計	△497	△4,263
四半期包括利益	28,164	25,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,325	24,401
非支配株主に係る四半期包括利益	839	675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※1 訴訟損失引当金繰入額

前四半期連結会計期間において係争中であった訴訟案件について、2024年10月4日に受領した1審中間判決を受け、その経過等の状況に基づく損失見込額を訴訟損失引当金繰入額として計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	9,750百万円	9,561百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	236,704	27,315	264,020	—	264,020
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	236,704	27,315	264,020	—	264,020
セグメント利益又は損失(△)	37,839	4,257	42,097	△4,235	37,862

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,235百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	235,561	26,770	262,332	—	262,332
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	235,561	26,770	262,332	—	262,332
セグメント利益又は損失(△)	37,767	4,126	41,893	△4,171	37,722

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,171百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得が全て終了しました。決算日後に取得した自己株式は、以下の通りです。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上を図るとともに、経営環境に応じた機動的な財務政策を可能にするため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数	285,300 株
(3) 株式の取得価額の総額	1,417,808,500 円
(4) 取得期間	2026年1月5日から2026年1月28日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

(ご参考)

1. 自己株式の取得に関する決議内容（2025年10月31日公表分）

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	125万株（上限） (発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合： 1.32%)
(3) 株式の取得価額の総額	50億円（上限）
(4) 取得期間	2025年11月4日から2026年1月28日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付